



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鈴木 崇之
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,423	0.9	335		356		277	
2022年3月期第3四半期	19,605	3.9	287		271		249	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 416百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 224百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	181.54	
2022年3月期第3四半期	163.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,453	2,870	18.5
2022年3月期	13,779	2,453	17.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,857百万円 2022年3月期 2,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点での2023年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,900	0.9	320		340		300		196.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	1,686,154 株	2022年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	157,875 株	2022年3月期	157,875 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	1,528,279 株	2022年3月期3Q	1,528,397 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けながらも、活動制限の解除や各種政策により経済活動が緩やかに再開され、景気回復の動きが見られました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻をめぐる国際情勢不安の長期化や、原材料価格・エネルギー価格の高騰、為替市場の急激な変動といった景気減速懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料・物流コストの高騰、急速な円安進行といった外部要因の影響が続くなか、環境意識の高まりから紙製品事業は好調に推移いたしました。特に、ウィズコロナの下でオンライン消費活動が定着したことを背景に、紙製宅配資材の市場規模は今後も拡大していくものと見込まれております。また、行動制限や入国制限の緩和、経済活動支援等の影響による人流回復が進むことで、来店型事業における紙製包装資材需要はさらに増加していくものと期待されます。

このような環境のもと、2021年6月30日に公表した中期経営計画『次世代パッケージ企業への転換』に掲げる『環境対応と成長基盤確立のための3ヵ年～本気の変革～』を基本方針として、「事業構造の転換」、「新規事業の発掘」、「コスト削減」、「業務運営の効率化」、「組織・人員の見直し」などに取り組み、引き続き環境戦略の強化、構造改革の徹底に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の取り組みとして、生産設備・人員配置の見直し等による紙製品事業の生産体制再構築、事業の見極めと不採算事業の整理を実施したほか、新たな市場も含めた開拓を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,423百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益335百万円（前年同四半期は営業損失287百万円）、経常利益356百万円（前年同四半期は経常損失271百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益277百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失249百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、9ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用447百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の角底袋、宅配袋、手提袋の販売数量・金額増加により、売上高は前年同期に比べ1,596百万円増加して10,038百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料費が増加したものの、生産体制の効率化に伴う利益率の向上により、前年同期に比べ381百万円増加して696百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、環境意識の高まりから、包装資材の紙化の流れが継続し、ポリ宅配袋の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ1,442百万円減少して4,501百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は売上高減少に加えて調達コストの上昇や円安の影響があったものの、前期より継続している事業構造改革の成果により固定費削減が進んだ結果、前年同期に比べ197百万円増加しましたが、40百万円の損失となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、前期需要が旺盛であった新型コロナウイルス感染拡大を背景とした清掃用品の売上高が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ335百万円減少して4,883百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品、包装用品が減少し、事務用品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ25百万円増加して127百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,674百万円増加して15,453百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が446百万円減少、電子記録債権が104百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が1,689百万円増加、棚卸資産が620百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,793百万円増加の11,161百万円となりました。固定資産は、設備投資等により110百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が137百万円増加した一方、有形固定資産の売却及び除却で36百万円減少、減価償却で182百万円減少、事業保険金が84百万円減少、繰延税金資産が56百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ119百万円減少の4,291百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,257百万円増加して12,583百万円となりました。これは、賞与引当金が74百万円減少、リース債務が69百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が786百万円増加、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が337百万円増加、短期借入金及び長期借入金が163百万円増加、未払金及び設備関係未払金が30百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ416百万円増加して2,870百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益計上により277百万円増加、その他有価証券評価差額金が82百万円増加、為替換算調整勘定が48百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の17.7%から18.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績を勘案し、2022年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,351	1,904
受取手形	258	231
売掛金	3,297	5,014
電子記録債権	840	736
商品及び製品	1,770	2,325
仕掛品	281	365
原材料及び貯蔵品	420	402
その他	146	181
流動資産合計	9,367	11,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,541	4,588
減価償却累計額	△3,830	△3,890
建物及び構築物(純額)	711	698
機械装置及び運搬具	8,249	6,912
減価償却累計額	△7,641	△6,339
機械装置及び運搬具(純額)	607	572
土地	644	644
リース資産	556	550
減価償却累計額	△341	△365
リース資産(純額)	215	184
建設仮勘定	11	5
その他	673	433
減価償却累計額	△651	△417
その他(純額)	22	16
有形固定資産合計	2,212	2,122
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	3	1
その他	28	19
無形固定資産合計	47	35
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349	1,502
破産更生債権等	0	4
事業保険金	84	—
差入保証金	125	92
退職給付に係る資産	487	485
繰延税金資産	56	—
その他	48	53
貸倒引当金	△0	△5
投資その他の資産合計	2,151	2,132
固定資産合計	4,411	4,291
資産合計	13,779	15,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,934	3,720
電子記録債務	2,624	2,939
短期借入金	1,260	1,325
リース債務	99	151
未払金	433	487
未払法人税等	41	55
未払消費税等	28	16
契約負債	24	10
賞与引当金	171	97
設備関係電子記録債務	17	40
設備関係未払金	23	0
その他	117	204
流動負債合計	7,777	9,049
固定負債		
長期借入金	2,480	2,578
リース債務	365	245
繰延税金負債	—	7
役員退職慰労引当金	51	32
退職給付に係る負債	649	669
固定負債合計	3,547	3,533
負債合計	11,325	12,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,409	1,241
利益剰余金	△367	78
自己株式	△263	△263
株主資本合計	2,153	2,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	188
繰延ヘッジ損益	—	△3
為替換算調整勘定	123	172
退職給付に係る調整累計額	58	69
その他の包括利益累計額合計	287	425
非支配株主持分	12	13
純資産合計	2,453	2,870
負債純資産合計	13,779	15,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	19,605	19,423
売上原価	16,255	15,786
売上総利益	3,349	3,636
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,803	1,709
給料及び手当	1,161	958
賞与引当金繰入額	56	50
退職給付費用	54	43
賃借料	128	113
旅費及び交通費	50	43
その他の経費	382	383
販売費及び一般管理費合計	3,636	3,301
営業利益又は営業損失(△)	△287	335
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	32
貸倒引当金戻入額	3	—
持分法による投資利益	28	53
受取賃貸料	8	3
作業くず売却益	1	2
その他	36	7
営業外収益合計	113	99
営業外費用		
支払利息	76	66
為替差損	11	3
賃貸費用	4	2
その他	5	6
営業外費用合計	97	78
経常利益又は経常損失(△)	△271	356
特別利益		
固定資産売却益	408	13
リース債務解約益	—	0
役員退職慰労引当金戻入額	10	—
助成金収入	51	2
特別利益合計	470	16
特別損失		
固定資産除却損	4	8
固定資産売却損	11	5
リース資産除却損	1	—
事業構造改革費用	406	—
特別損失合計	423	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△224	359
法人税、住民税及び事業税	18	53
法人税等調整額	40	27
法人税等合計	58	81
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△283	277
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△249	277

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△283	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	82
繰延ヘッジ損益	—	△3
為替換算調整勘定	79	35
退職給付に係る調整額	17	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	13
その他の包括利益合計	58	138
四半期包括利益	△224	416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202	415
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の定時株主総会において、繰越利益剰余金の欠損を填補し早期に財務体質の健全化を図ることを目的として、利益準備金の額の減少及び剰余金の処分を決議いたしました。2022年8月5日付で効力が発生し、資本剰余金が168百万円、利益準備金が285百万円、別途積立金が251百万円減少し、繰越利益剰余金が705百万円増加しております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	6,791	—	—	6,791	—	6,791
紙器	923	—	—	923	—	923
その他紙製品	727	—	—	727	—	727
ポリ袋	—	4,028	—	4,028	—	4,028
その他化成品	—	1,915	—	1,915	—	1,915
その他商品	—	—	5,218	5,218	—	5,218
顧客との契約から生じる 収益	8,442	5,944	5,218	19,605	—	19,605
外部顧客への売上高	8,442	5,944	5,218	19,605	—	19,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,442	5,944	5,218	19,605	—	19,605
セグメント利益又は損失(△)	315	△238	101	178	△465	△287

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△465百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	8,268	—	—	8,268	—	8,268
紙器	998	—	—	998	—	998
その他紙製品	772	—	—	772	—	772
ポリ袋	—	3,606	—	3,606	—	3,606
その他化成品	—	894	—	894	—	894
その他商品	—	—	4,883	4,883	—	4,883
顧客との契約から生じる 収益	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
外部顧客への売上高	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
セグメント利益又は損失(△)	696	△40	127	782	△447	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。